

平成21年度香川県公立高等学校入学者選抜の学力検査の各教科概評

国語

- ① 小説を読んで答える問題はよくできていた。
- ② 評論を読んで答える問題で、文章を正確に読み取り、その論旨を的確に表現する問題は、期待した正答率を下回った。
- ③ 歴史的かなづかいや漢字の読みなど、言葉に関する基礎的な知識や理解を問う問題も、期待した正答率を下回った。
- ④ 作文は、「学ぶことや知ることの喜び」というテーマを出題したが、体験や具体例が書けていないものが多かった。

数学

- ① 数と式、数量関係についての基礎的・基本的な知識・技能が身につけているかどうかをみる問題はよくできていた。
- ② 図形の計量についての問題は、期待した正答率を下回った。
- ③ 与えられた規則にしたがって考える問題は、期待した正答率を上回った。
- ④ 証明問題は難易度が高い内容であるが、取り組もうとする姿勢がうかがえた。

社会

- ① 公民、歴史、地理の3分野のうち、歴史分野が最もよくできていた。
- ② 基本的な用語を答える問題や、表やグラフなどを読み取る問題はよくできていた。
- ③ 歴史的な分野の問題で、できごととそれが起こった時期を組み合わせる問題など、いくつかの知識を関連付けて考える問題は、期待した正答率を上回った。
- ④ 論述する問題については、的確に表現する力に課題はあるものの、取り組もうとする姿勢がうかがえた。

英語

- ① 英語を聞いて答える問題や、会話でよく使われる基本的な表現に関する問題はよくできていた。
- ② 意味が通るように語を並べかえる問題は、正答率が低かった。
- ③ 本文の内容に合った語や文を選ぶ問題は、期待した正答率を上回った。
- ④ 自分の意見を英語で表現する問題は、身につけた知識を活用して取り組もうとする姿勢は見られたが、語の綴りや文法の誤りが多かった。

理科

- ① 観察や実験での基本的な操作や用語を答える問題はよくできていた。
- ② 地学分野で論述する問題は、用語の定義を正確に表現できているものが少なかった。
- ③ 化学分野でグラフを書く問題は、表から正確に値を読み取りグラフに表せないものが多く、期待した正答率を下回った。
- ④ 物理分野で計算する問題は、難易度の高いものも含まれていたが、期待した正答率を上回った。